

集中治療部（ICU）における  
医療安全管理指針策定に関する研究

山口大学医学部生体侵襲医学講座教授

前川 剛志

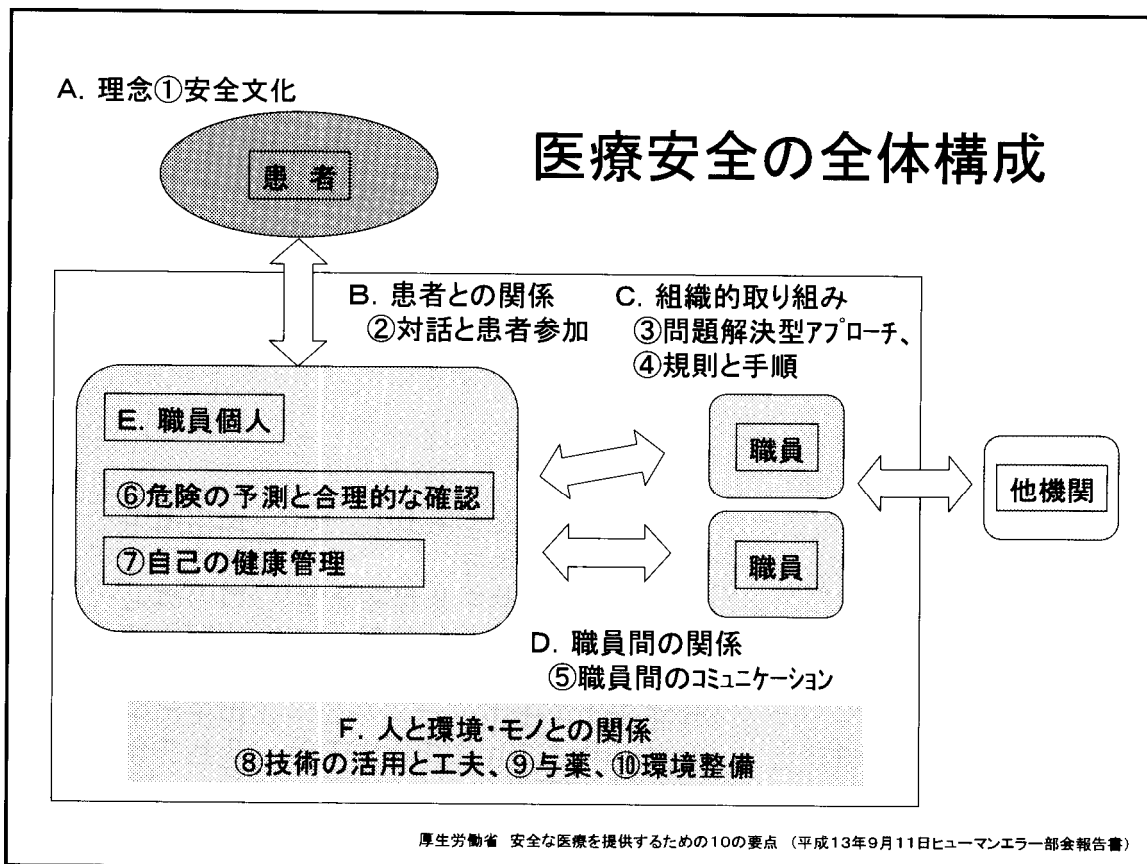
集中治療部（ICU）における  
医療安全管理指針策定に関する研究

主任研究者 班員 医師	山口大学高度救命救急センター 岡山大学救急医学 宝塚市立病院集中治療救急室 大阪市立大学病院救急部	前川剛志 氏家良人 妙中信之 行岡秀和
看護師	岡山大学病院看護部 西能病院看護部	真鍋佳子 境美代子
臨床工学技士	徳島大学病院医療機器管理室 三井記念病院MEサービス部	大西芳明 加納 隆
事務局担当	山口大学ME機器管理センター	松山法道

# ICUにおける医療安全管理指針策定 作業行程

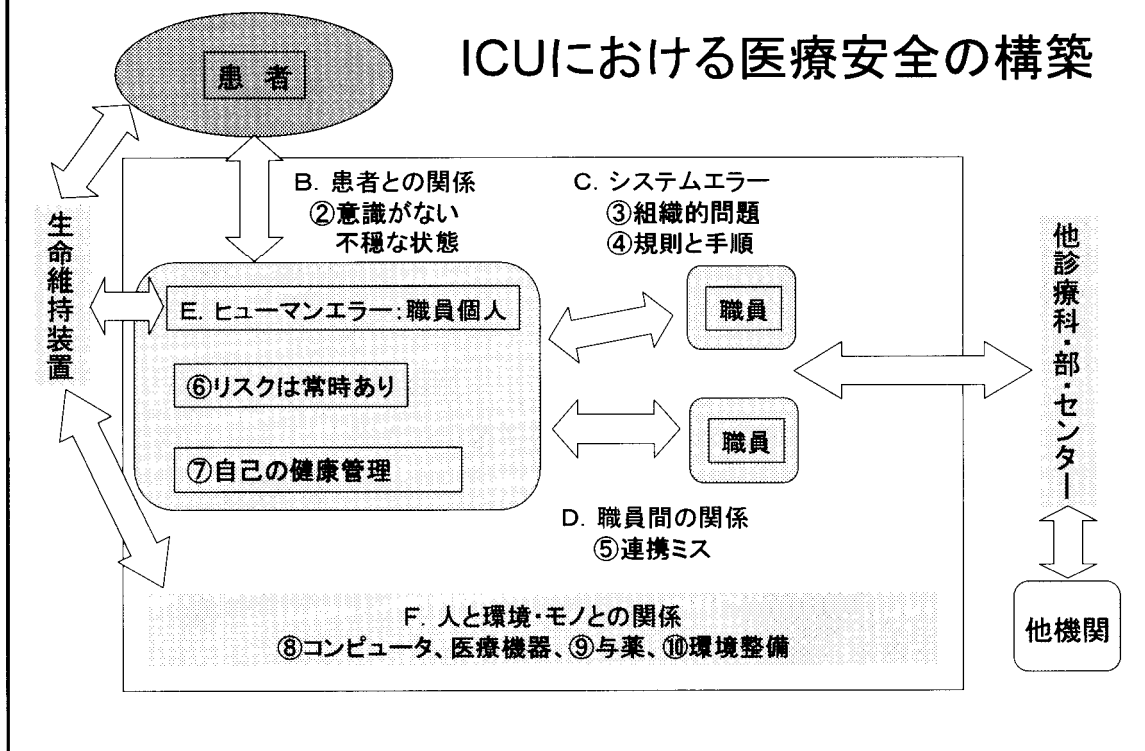
- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 班員選定                     | 5. 概念図に沿った指針案策定 |
| 2. 資料収集                     | 6. 不足分の調査、補填    |
| 3. 策定概念図作成                  | 7. 指針策定、配布      |
| 4. 現状把握<br>アンケート調査、<br>実地調査 | 8. 効果判定基準による判定  |
|                             | 9. 指針更新計画       |

付録：指針策定ノウ・ハウ



A. 基本概念①ICUで安全なものはない

## ICUにおける医療安全の構築

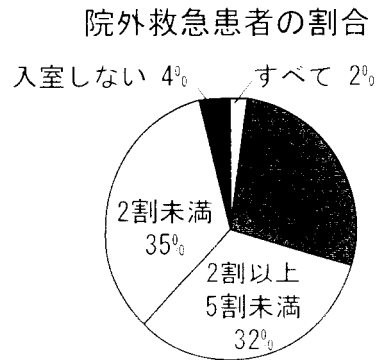
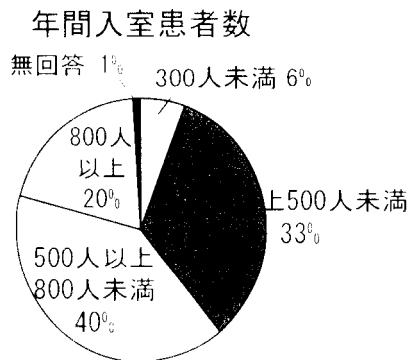
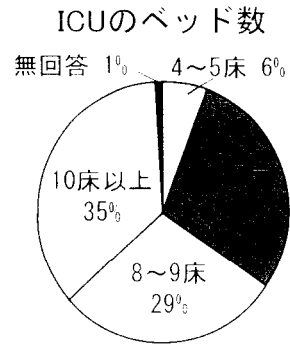
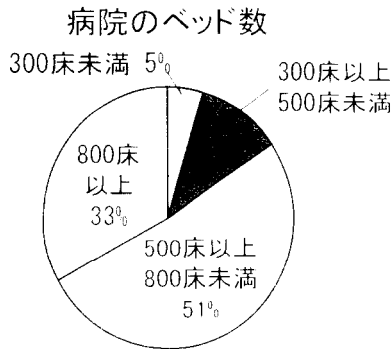


## 日本集中治療医学会危機管理委員会 全国アンケート調査(回収率139/190、施設:73%)

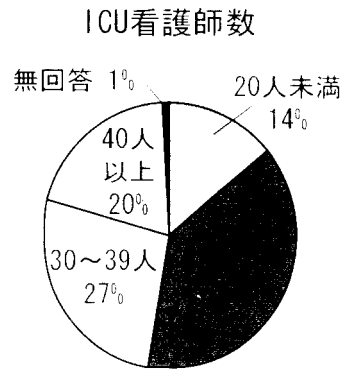
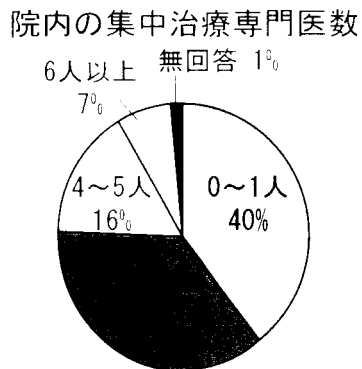
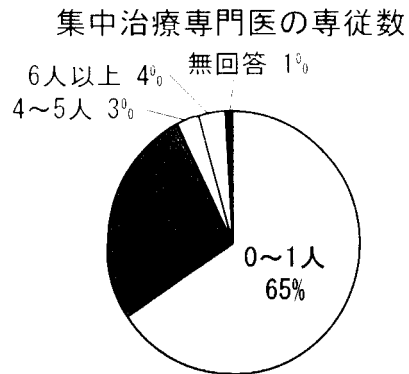
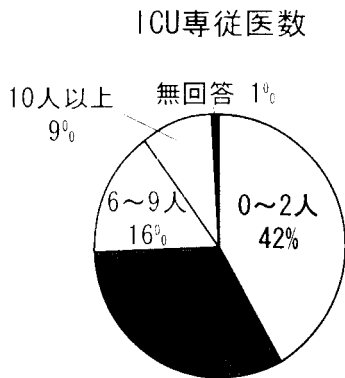
### 調査項目

1. ICUの運営について
2. 年間入室患者数
3. 人工呼吸器使用患者数
4. リスクマネジメント委員会について
5. ICUにおけるインシデントについて

## ICUの運営状況(139施設)

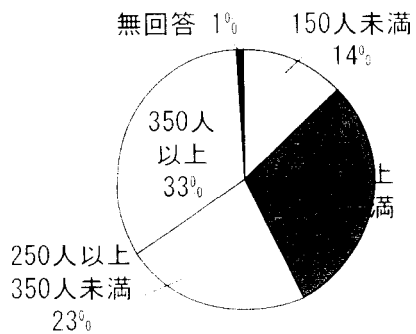


## ICUのスタッフ数について(139施設)

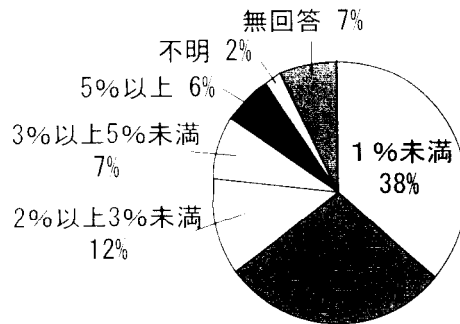


## 人工呼吸管理について（139施設）

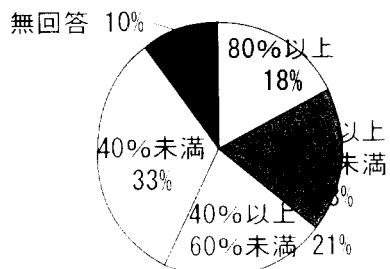
人工呼吸患者数



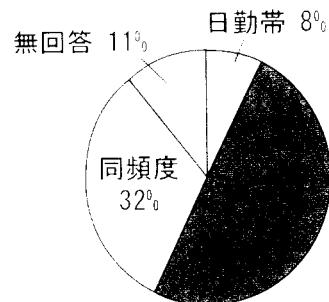
自己抜管の割合



自己抜管後の再挿管の割合



自己抜管の時間帯



## 臨床工学技士に対するアンケート調査 常備医療機器

1. 輸液ポンプ
2. シリンジポンプ
3. 人工呼吸器
4. 血液浄化装置
5. ペースメーカー
6. 除細動装置
7. 大動脈内バルーンポンピング
8. 経皮的心肺補助装置
9. 生体情報モニタ(心電図、血圧、酸素飽和度、頭蓋内圧、体温、他)

## 看護師に対するアンケート調査

1. 看護体制
2. 指示体制
3. インシデント調査  
呼吸、輸液、輸血、栄養、薬剤、与薬、ME機器、  
検査、転倒転落、看護ケア、記録、  
インフォームドコンセント、感染
4. ヒヤリ・ハット事例個人調査（ICU経験<2年、≤3年看護師）  
輸液ポンプ                      シリンジポンプ  
人工呼吸器                      生体情報モニタ

## 医師に対するアンケート調査

### ヒヤリ・ハット事例個人調査

1. 人工呼吸器
2. 血液浄化装置
3. ペースメーカー
4. 除細動器
5. 大動脈内バルーンポンプ
6. 経皮的心肺補助装置



第31回日本集中治療医学会学術集会特別企画  
【医師、看護師、臨床工学技士合同部門】

## 「医療機器管理室の整備事業と医療安全」

座長	渡辺 敏 (北里大学名誉教授) 戸畑裕志 (久留米大学病院臨床工学センター)
1. 医療安全確保対策 一薬事法の観点から	平山佳伸 (厚生労働省医薬食品局 安全対策課長)
2. 業界の立場 輸液ポンプ等の安全 基準策定と業界の対応	舘 盟吉 (テルモ株式会社)
3. 医療機器管理における臨床工学 技士の役割	加納 隆 (三井記念病院 MEサービス部)
4. 医療機器の安全点検システム (MARIS™)開発と実用化	大西芳明 (徳島大学病院救急部・集中 治療部 医療機器管理室)
5. 医療安全教育における臨床工学 技士養成校の役割	廣瀬 稔 (北里大学医療衛生部 臨床工学)
6. 医師の立場 医療機器管理室長のあるべき姿	黒田泰弘 (徳島大学病院救急部・ 集中治療部)

第31回日本集中治療医学会学術集会シンポジウム  
【医師、看護師、臨床工学技士合同部門】

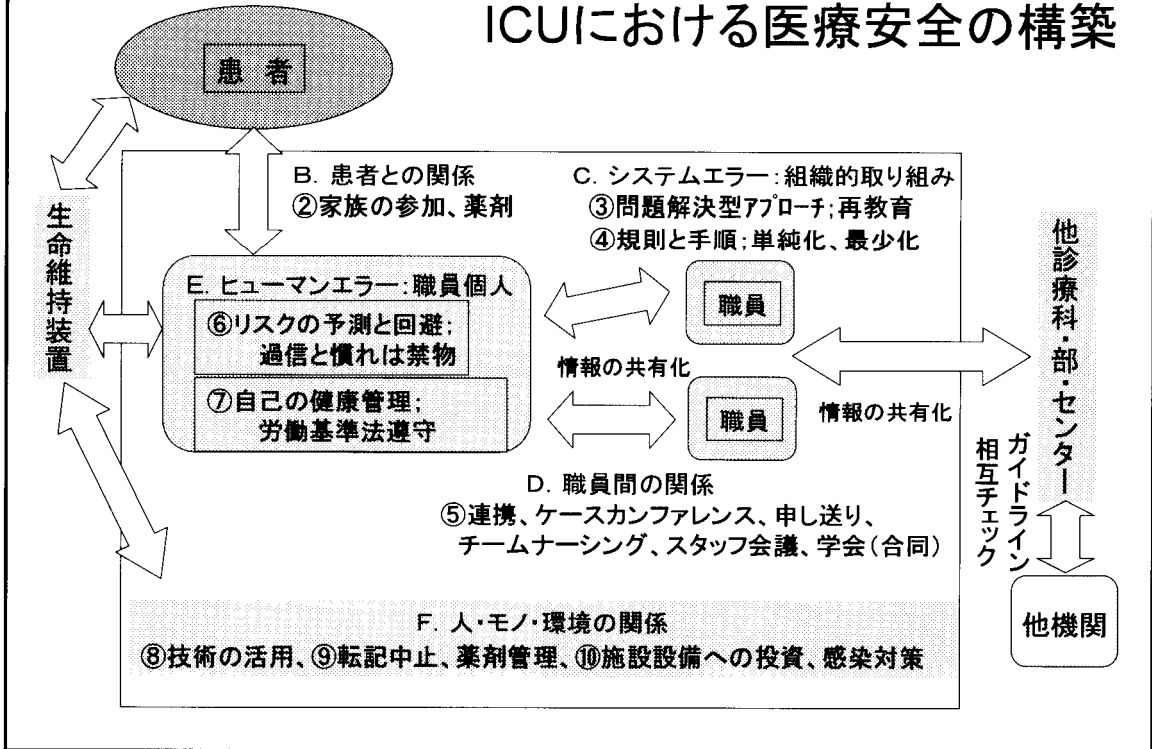
## 「集中治療の環境を見直す」

座長	丸川征四郎 (兵庫医科大学救急・災害医学講座) 真鍋佳子 (岡山大学病院HCU)
1. 集中治療における患者環境を 考える	押川麻美 (福岡大学病院救命救急センター)
2. ICUにおける夜間の音環境と 看護師が作り出す音の実態調査	大島聖子 (東邦大学医学部附属佐倉病院)
3. ICU部門の色彩環境計画	安本 進 (集中治療設置基準検討委員会 アドバイザー、工業デザイナー)
4. 集中治療の非日常性を考える	落合亮一 (東邦大学医学部附属大森病院 麻酔科学第一講座)
5. 患者のプライバシー保護の方策	丸藤 哲 (北海道大学侵襲制御医学講座 救急医学分野)
6. インフラに関わる環境整備	木村政義 (兵庫医科大学病院臨床工学室)



A. 基本概念①総合的な安全

# ICUにおける医療安全の構築



集中治療部（ICU）における医療安全管理指針策定に関する研究  
山口大学医学部生体侵襲医学講座 前川剛志

医療における安全確保が必須事項であることは論を待たないが、現実には非常に難しい。日本人には安全は只とってきた過去がありますが、米国のテロ対策に国家予算の相当額を使用していることでも分かるように、安全確保にはお金がかかることも事実で、国民もこのことを理解すべきです。即ち安全な医療を受けるにはそれなりの代償が必要です。

一方、国家財政が窮迫している現在、知識、技術を集結して日本の現場に合った医療安全管理指針を策定する方策が必要です。理想を求めず汎用性があり、時間は多少かかっても現場の生きたデータが蓄積され、更新しつつ長期間使用可能で、解析した結果がフィードバックできる指針を作り、経費がかからないものを目指します。

「集中治療部（ICU）における医療安全管理指針策定に関する研究」班では、平成16年度と17年度に上記のような基本概念でガイドラインを策定すべく、本年5月下旬から活動を始めました。集中治療部（ICU）は生命維持が必要な最重症の患者さんを医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、放射線技師等々で24時間365日、1分、1秒の休みもなく診断と治療を行う場所です。非常に複雑な臨床現場で多種多様のハイテク医療機器を使用し、多くの医療スタッフが入り乱れて診断と治療をしないと助からない患者さんですから、どの部分が欠けても患者さんは死にます。そのような医療現場の安全管理はシステム作りであり、医療安全管理指針は有効活用すべき補助手段と思います。

今回の発表では、ICUの現場を紹介するとともに、今までに集められた医療安全管理のためのノウハウ、アンケート調査結果、今後行うアンケート項目や調査予定等を紹介します。